

## 実践事例（１）

### 第１・２学年 生活科 ～地域力を生かした学習活動の工夫～

（同単元同内容指導）

#### 1 はじめに

本校は、山間部の過疎化が進む地域にあり、全校児童25名の小規模校である。学校に寄せる保護者や住民の熱い思いや期待に支えられ、その協力の下で教育活動を進めている。児童は地域の子として大切に育てられ、学校と地域は深い連携を図ってきた。

今回は、同単元同内容で、評価規準を同一にし、見取りの視点を必要に応じて学年別に想定した生活科の実践で、地域力を生かした学習活動を紹介する。

#### 2 実践例

（１）単元名 すてきだよ！ふるさと ～キラリわんぱくたんけんたい～

（２）単元のねらい

- 地域で関わった人のことや、その関わりを通して分かったことなど、心に残った出来事を「ふるさとのキラリ」として友達や地域の人々と伝え合おうとしている。

【関心・意欲・態度】

- 伝える相手や目的、伝える出来事の内容に応じ、適切な方法を選んで作品に表し、分かりやすい伝え方を工夫しながら交流することができる。 【思考・表現】

- 身近な人々と関わることの楽しさが分かり、互いに交流することのよさに気付くとともに、地域への親しみや愛着が増したり、人々と適切に接したりすることができるようになったりした自分に気付くことができる。 【気付き】

（３）指導観

- 本学級の児童は、１年生５名、２年生３名の複式学級である。互いに仲がよく、協力して学習を進めることができる。児童は、人や自然に恵まれた環境の中で生活しており、地域の方との交流も頻繁に行っているが、住んでいる地域のよさに気付いている児童は少ない。また、人との関わりが苦手で、自分の思いを表現することができにくいいため、どうしても交流の場では消極的になりがちである。

本単元では、１・２年生混合の班を作り活動する。まとめや伝え合いを合同で行うことにより、互いの発表を聞いて学んだり、活動をサポートしてもらったりでき、互いに成長できると思われる。

- 児童は、今までに身近な生活圏である地区に出掛け、様々な場所と関わったり、身近な人々と接したりする活動を行ってきた。本単元では、それらの活動を振り返り、地域の人々と繰り返し関わったことや、その関わりを通して分かったことなど、自分にとって心に残った出来事を、伝えたいことに応じた適切な方法を選択して表現し、友達や地域の身近な人々と伝え合う活動を行う。それらの活動を通して、身近な人々と関わることの楽しさが分かるとともに、地域の人々と進んで交流することができるようになることを目指している。

また、自分の見つけた地域のよさが地域の人に伝わることの楽しさや地域の人々の考えている地域のよさを理解することができる楽しさにも気付くことができるだろう。活動のまとめとして、発表会の場で、より多くの地域の方々に向けて発表することで、児童の意欲も増し、地域に対する親しみや愛着が増すと考えられる。

1年生ならではの新鮮な気付きや2年生の活動力や観察力を生かし、地域の人々への感謝の気持ちを大切に作る単元としたい。

- 本時の前段階では、近隣の小学校との交流学习を行い、本校の地域のよさを伝える活動を行った。本時は、そこでもらったアドバイスをもとに自分のめあてを決め、地域のよさをお客さんに伝える活動を行う。発表の準備の時間を十分に確保し、知らない人ともうまくコミュニケーションがとれるように、十分に発表の準備をさせた上で、自信をもって取り組めるよう支援していきたい。さらに、地域のことを詳しく知らないお客さんに伝える活動を通して、地域のよさを再確認させたい。

(4) 全体構想 (生活科 3 7 時間 + 学校行事 3 時間)

学習活動(時数)	児童の意識の流れ	○主な支援
<p>(探検 1)</p> <p>1 探検 1 の計画を立て、ふるさとの秘密を調べる活動をする。(9)</p> <p>2 探検したことを振り返り、「ふるさとのキラリ」を表現し伝え合う。(6)</p>	<p>(5～7月)</p> <p>「ふるさとのキラリ」を探しに行こう。(探検 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館 ・宝泉坊さま ・クアテルメ</li> <li>・宝泉坊ロッジ ・駐在所</li> <li>・宝泉坊売店 ・郵便局</li> </ul> <p>昔のお風呂が公民館にあったよ。新しいクアテルメについてもっと調べてみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行きたいところが同じ児童同士で、願い別のグループを作り活動する。</li> <li>○ 友達の発表をもとに、さらに探検をし、気付きを広げられるようにする。</li> </ul>
<p>(探検 2)</p> <p>1 探検 1 を振り返り、探検 2 の計画を立てる。(3)</p> <p>2 探検 2 に出かける。(3)</p> <p>3 探検 2 を振り返</p>	<p>(10月)</p> <p>「クアテルメ探検」(探検 2) の計画を立てよう。</p> <p>どんなお仕事をしているのかな。 温泉やプールに入ってみたいな。</p> <p>インタビューしてみたいことがあるよ。 町の人とも話してみたいな。</p> <p>クアテルメ探検に行こう。(探検 2)</p> <p>いろんなお仕事をしていたよ。 お客さんにインタビューしたよ。</p> <p>プールの秘密を見つけたよ。 お風呂に入ってみたよ。</p> <p>クアテルメの秘密をまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「確かめたい」「もっと見附きたい」という探検への興味・関心が高まるように投げ掛けをする。</li> <li>○ どんな小さな発見も気付きと認め、自分から秘密をたくさん発見できるようにする。</li> <li>○ 自ら進んでお客さんに話し掛けられない児童には、仲間が寄り添って話が聞けるよう予め助言しておく。</li> <li>○ 働いている人やお客さんと</li> </ul>

り、クアテルメの秘密についてまとめる。(2)

秘密がいっぱいあったよ。

自分との関わりに気付けるようにする。



写真1 クアテルメ新聞



写真2 公民館と昔のお風呂新聞

<p>(本単元)</p> <p>1 探検を振り返り、地域の人や友達に一番伝えたいことを決める。(2)</p> <p>2 発表の準備をする。(6)</p> <p>3 一番伝えたいことを伝え合う。(5)</p> <p>(振り返り)</p> <p>4 発表会を振り返る。(1)</p>	<p>(10～11月)</p> <p>「ふるさとのキラリ」を決めよう。</p> <p>昔のお風呂の秘密を教えてくださいな。      クアテルメの秘密を教えてくださいな。</p> <p>「ふるさとのキラリ」を表そう。</p> <p>劇にしよう。      写真で説明しよう。</p> <p>絵に描いてみよう。      クイズにしよう。</p> <p>「ふるさとのキラリ」を伝えよう。(本時3/5)</p> <p>うまく伝えられるかな。      発表が楽しみだ。</p> <p>隣の学校のお友達やお客さんにもキラリを教えよう。</p> <p>発表会(行事)</p> <p>楽しかったことを思い出そう。(12月)</p> <p>発表をほめてもらっ      がんばって発表してよかったな。</p>	<p>○ 伝えたいことが同じもの同士でグループを作り、伝える内容を話し合わせる。</p> <p>○ 児童の状況把握に努め、活動の見通しをもたせる。</p> <p>○ 伝える内容を明らかにさせ、発表の中に自分の考えや感想も入れるようにする。</p> <p>○ 活動を振り返り、友達と協力して発表する楽しさや喜びを感じさせるようにする。</p>
---	--	--

(5) 評価規準

○ 評価規準 ・見取りの視点

学習活動	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分自身についての気付き
1 探検	○ これまでの地域探検を振り返り、発表の計画を立て、準備をしようとしている。	○ 友達と相談して、発表したい内容を決めている。 ・ 自分たちが発表したい場	

を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えをもって話し合いに参加しようとしている。(1年)</li> <li>発表したい内容を選んで進んで話し合いに参加しようとしている。(2年)</li> </ul>	<p>所を具体的に話し合ったり書き出したりしている。</p>	
2 発表の準備をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が伝えたいことについて、足りない情報を集めようとしている。</li> <li>自分の伝えたいことについて分からないことを発言し、「もっと調べたい」と友達と話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な表現手段の中から、伝える相手や内容などを考えて適切な方法を選び、分かりやすい伝え方の工夫をしながら表現している。</li> <li>伝えたいことを、絵や写真などを用いて工夫してまとめている。(1年)</li> <li>伝えたい人によく分かるように分かりやすく伝える方法を工夫している。(2年)</li> </ul>	
3 探検したことを伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>探検して気付いたことや見つけたことを、表現方法を工夫して伝え合おうとしている。</li> <li>地域のよさを進んで伝えようとしている。(1年)</li> <li>役割分担をして、相手に分かりやすく伝えようとしている。(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に分かりやすい伝え方を工夫しながら交流している。</li> <li>まとめたものの見せ方や話し方を工夫しながら発表している。(1年)</li> <li>相手の気持ちを考え、顔を見ながら話したり、身振り手振りを使ったりしながら発表し、質問や感想を聞いたりしている。(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の見つけた地域のよさが、地域の人々や隣の学校の友達に伝わることの楽しさや、地域の人々の考えている地域のよさを理解することができる楽しさに気付いている。</li> <li>自分たちの発表を聞いてくれたことの喜びを、友達と話したり記録カードに書いたりしている。(1年)</li> <li>自分たちの発表が伝わることの喜びや地域の人々が考えている地域のよさを知った喜びを友達と話したり、記録カードに書いたりしている。(2年)</li> </ul>
4 振り返る		<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会を終えた感想を自分の言葉で表現している。</li> <li>自分の成長や感謝の気持ちを自分らしい表現で伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への親しみや愛着が増したり、人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。</li> <li>自分や友達のよさ、今後の課題に気付いている。</li> </ul>

(6) 本時の指導

- ① 教材名 「ふるさとのキラリ」を伝えよう (本時3 / 5)

② ねらい 自分が一番伝えたい「ふるさとのキラリ」を、自分の言葉でお客さんに伝え、感想を聞く中で、伝え合うことの楽しさに気付くことができる。

③ 研究の視点に立った本時の指導

研究の視点	研究の視点に立った本時の学習活動
1 主体的な学びを目指した分かる楽しい授業づくりの工夫	自分が伝えたいものを、伝えたい方法で自分の言葉で伝える場を設定する。
2 コミュニケーション能力を高める表現活動の工夫	お客さんのアドバイスを取り入れられるように、情報交換する時間を確保する。
3 地域力を生かした学習活動の工夫	伝える対象として、地域の方に授業参加してもらう。 地域の取材資料を提示しておく。

④ 展開

学習活動	教師の働きかけと児童の反応	○教師の支援 ◎評価
1 本時のめあてと活動の内容を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           隣の学校の友達のアドバイスを思い出そう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆっくり話すといいよ。</li> <li>・ 絵があるといいよ。</li> </ul>	○ 前時までの活動を振り返ることで、伝えたい気持ちを高める。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             「ふるさとのキラリ」をお客さんに、分かりやすく伝えよう。           </div>		
2 自分のめあてを決め、発表の練習をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           友達のアドバイスをもとに、自分のめあてを決めて、練習しよう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手がうなずいて聞いてくれるようにゆっくり話そう。</li> <li>・ 写真を見せて、話そう。</li> <li>・ 劇を入れてみよう。</li> </ul>	○ めあてを決めることで、意欲的に本時の学習に取り組めるようにする。 ○ 役割分担を確認させ自信をもって伝えられるようにする。
3 お客さんに伝えたいことを発表し、内容を修正したり、付け加えたりする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           お客さんからアドバイスをもらい、よりよい発表にしていこう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域には、○○があります。</li> <li>・ ○○では、こんな工夫をしています。</li> </ul>	○ お客さんのアドバイスや感想を聞いて、発表内容を付け加えたり修正したりさせる。 ○ 聞いてもらう相手を変えて、再度伝えてアドバイスをもらうようにする。 ◎ 適切な挨拶や言葉遣いに気を付けて、○○

写真3 水槽で泡のお風呂を作ってみせよう。



<p>4 本時の活動を振り返る。</p>	<div data-bbox="641 203 1019 483" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="517 506 970 551" data-label="Text"> <p>今日の学習を振り返ろう。</p> </div> <ul data-bbox="517 562 1043 730" style="list-style-type: none"> <li>・ 前より、落ち着いて話せたよ。</li> <li>・ 今度の発表会に生かしたいな。</li> <li>・ いいアドバイスをもらって、うれしかったよ。</li> </ul>	<p>のキラリをお客さんに伝えようとしているか。</p> <div data-bbox="1066 315 1358 454" data-label="Text"> <p>写真4 写真を見せながら説明するよ。</p> </div> <ul data-bbox="1066 510 1396 824" style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のめあてに向かって活動できたか振り返らせる。</li> <li>◎ 地域にはいいところがたくさんあり、それを伝え合うことの楽しさに気付いているか。</li> </ul>
----------------------	--	---

### 3 考察

同単元同内容の学習であっても、学年に応じて、子どもの姿を想定し、見取りの視点を設定しておく、発達段階を意識して評価することができる。また、授業中での支援もその視点に即して行うことができた。

また、小規模校の課題として、多くの意見に触れることができにくいということがあげられる。その解決策とし



写真5 振り返りカードへの記入

て本校では地域の方や保護者を授業にお招きし、多様な意見に触れられるよう工夫している。また、近隣校と交流学习を行うことで、同学年の友達との意見の交流も行っているよ。さらに今回のように、参観されているお客さんに対して自分たちが住んでいる地域のよさを伝えようとする活動は、児童に相手意識・目的意識をもたせることができ、相手により分かりやすく発表しようとする意欲付けを図ることができた。お客さんからの質問に対しても、上手に対応できていたように思う。児童は、お客さんのアドバイスに「なるほど～」と答えたり、「ちょっと待ってください。」と言いながら、アドバイスを熱心に書きとるなど、自分たちの発表をよりよいものにしようとする意識が表れ、授業が活性化した。発表を取り入れた学習では、1回の発表で終わるのではなく、繰り返し相手を変えながら発表し、推敲しつつ、さらにそれを高めていく学習が大切である。

### 4 おわりに

ふるさと学習は、地域を愛し、地域の人々を尊敬する心を育てる。これは、キャリア教育の目標の一つである「身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上」にもつながると思われる。今後さらに、地域力を生かした学習活動の工夫のために、素材の掘り起こしを図っていきたい。